

(5) 採用に関して

アンケート結果から、自社と関係のない企業で働いていたフリーターを正社員として採用している企業が非常に多い。自社で働いているフリーターや自社の同業種の企業で働いているフリーターのみを採用候補としている企業は、より外に目を向け、異業種の企業で働いているフリーターを採用候補として考えてみてはいかがか。図表4にあるように、企業は他業種で働いていたフリーターより、自社や同業種で働いていたフリーターを優先しているが、実態としては他業種で正社員となったフリーターが多い。その要因としては、同業種で働いていたという経験はあるが、能力水準や給与体系などその他の要

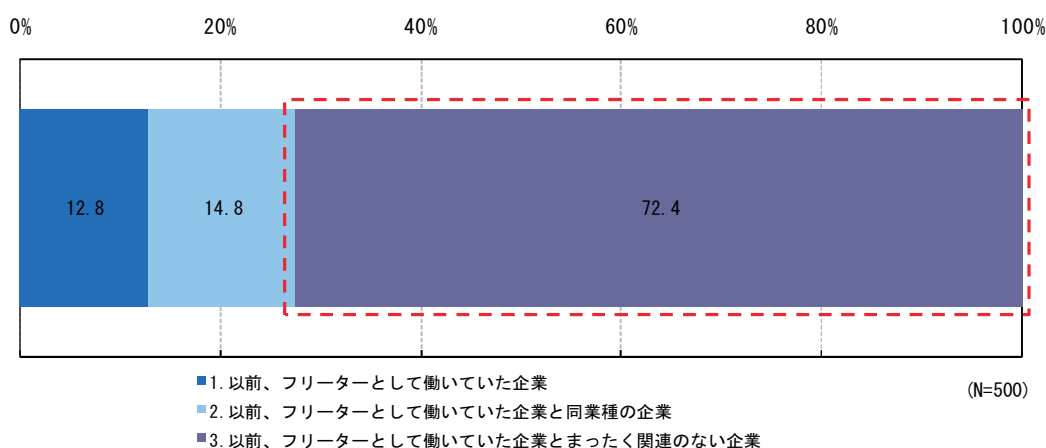
件が合わずに同業種で働いていたフリーターを採用できていない場合や、同業種で働いていたフリーターの応募数が少ないため他業種のフリーターの方を多く採用している場合などが考えられる。

また、正社員となった経験がある人はない人に比べ、学生時代にはスポーツ系のサークル活動等や資格の取得に、フリーター時代には資格の取得に時間を割く傾向にある。スポーツや資格の取得を重視している人ほど、社会に対する問題意識・価値観や自分の仕事・キャリアに対する態度・姿勢や専門知識を身につけていると考えられる。

ア. 採用するフリーターの対象範囲について

- アンケート結果によると、以前はフリーターであり、現在正社員となった人 500 人のうち 72.4%が、「以前フリーターとして働いていた企業とまったく関連のない企業」で採用されたと答えている。

図表 13 正社員として採用された企業の属性

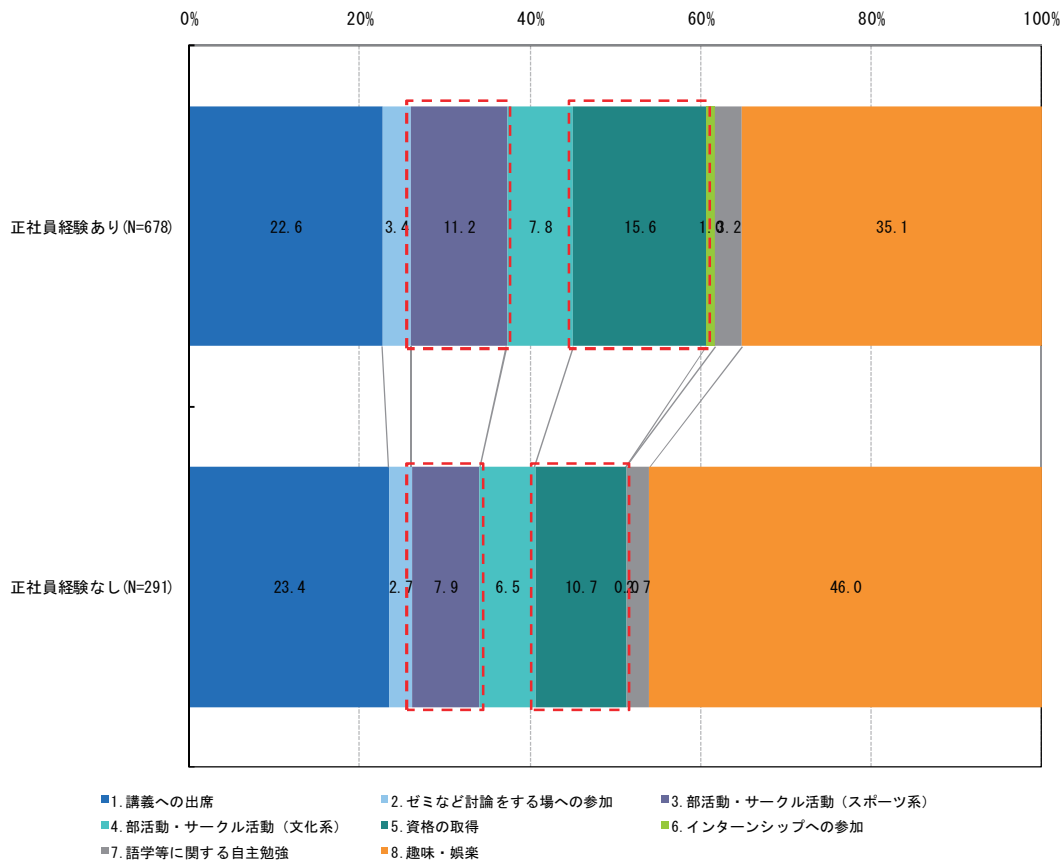


出所)「仕事に関するアンケート」

イ. 採用するフリーターの能力について

● 学生時代の活動については、正社員経験がある人は、最も時間を費やした活動として「部活動・サークル活動（スポーツ系）」と回答した割合が 11.2%、「資格の取得」と回答した割合が 15.6%となっている。一方、正社員経験がない人は、学生時代に最も時間を費やした活動として「部活動・サークル活動（スポーツ系）」と回答した割合が 7.9%、「資格の取得」と回答した割合が 10.7%となっている。このように、正社員経験がある人とない人との間に「部活動・サークル活動（スポーツ系）」と「資格の取得」といった活動量に差のある可能性がある。

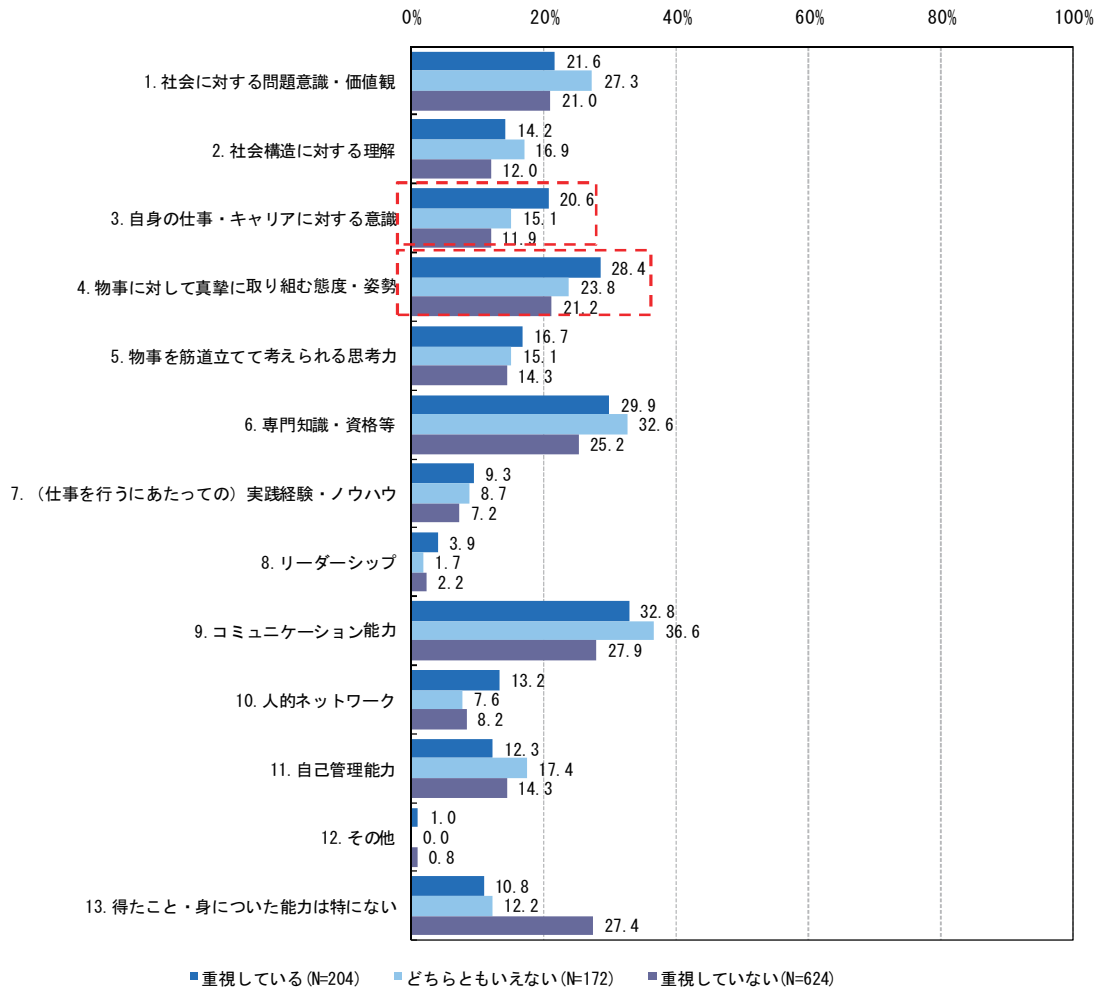
図表 14 正社員経験の有無別の学生時代に最も時間を費やした活動



出所)「仕事に関するアンケート」

- スポーツを重視していた人と重視していなかった人に対してそれぞれ学生時代に得たこと、身に付けた能力を最大3つまで聞いた。アンケート結果によると、スポーツを重視していた人は「自身の仕事・キャリアに対する姿勢」を身に付けたと回答した割合が20.6%であるのに対して、スポーツを重視していなかった人が「自身の仕事・キャリアに対する姿勢」を身に付けたと回答した割合は11.9%となっている。

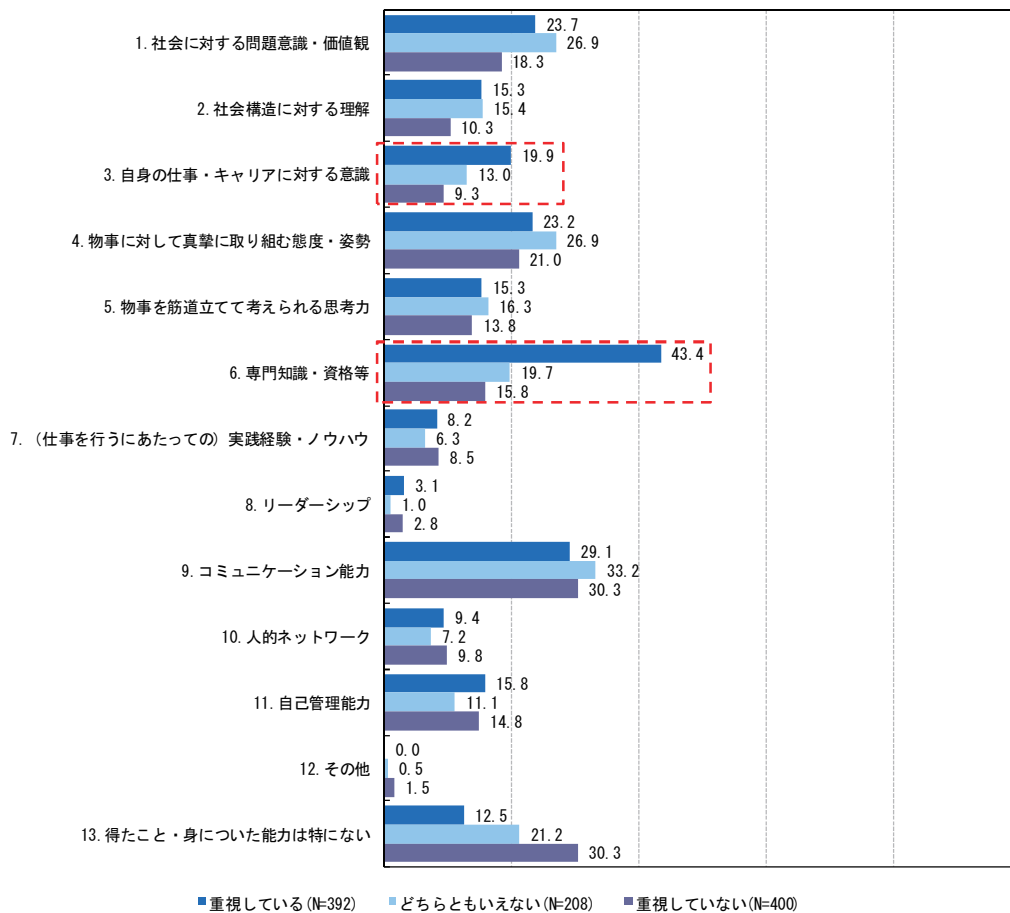
図表 15 「学生時代にスポーツ系の部活動・サークルへの参加を重視していたか別」
学生時代に身に付けた能力等



出所) 「仕事に関するアンケート」

●次に、学生時代に資格の取得を重視しているか否かで身につけた能力にどのような差異があるのかを見てみる。アンケートの結果によると、資格の取得を重視していた人は「自身の仕事・キャリアに対する姿勢」を身に付けたと回答した割合が19.9%であるのに対して、資格の取得を重視していなかった人が「自身の仕事・キャリアに対する姿勢」を身に付けたと回答した割合は9.3%となっている。また、当然ではあるが、「専門知識・資格等」についても、資格の取得を重視していた人は、身についたと回答した割合が43.4%であるのに対して、資格の取得を重視していない人は身についたと回答した割合が15.8%となっている。

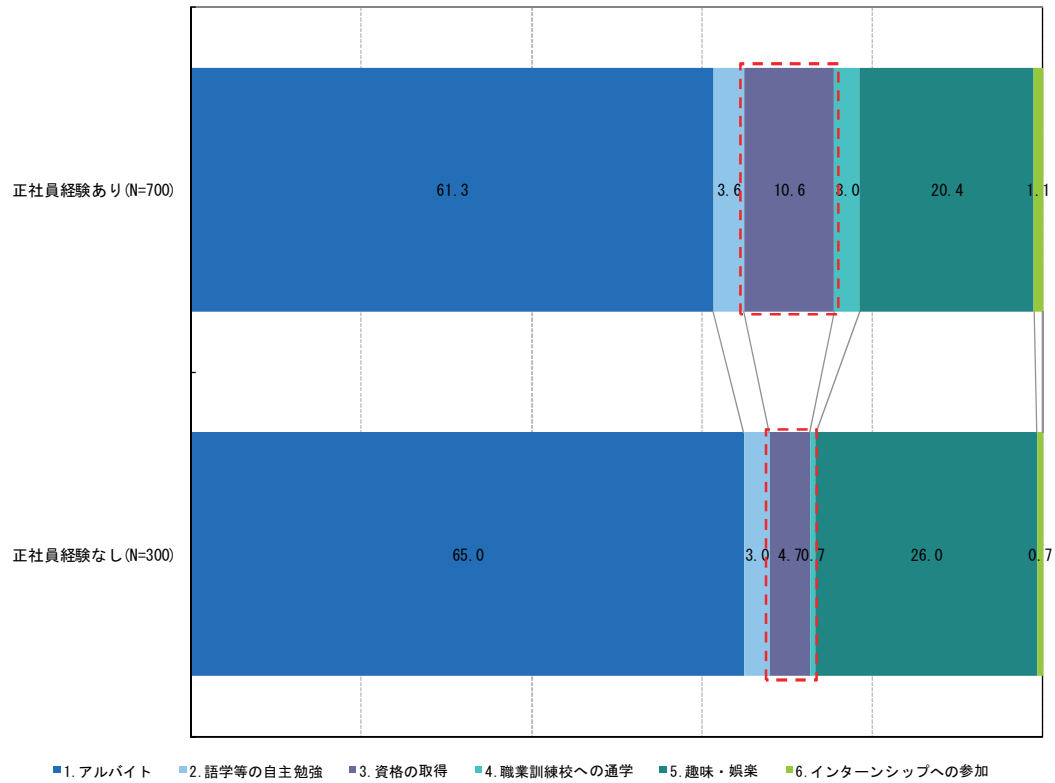
図表 16 「学生時代に資格の取得を重視していたか別」 学生時代に身につけた能力等



出所) 「仕事に関するアンケート」

- フリーター時代の活動については、正社員経験がある人は、最も時間を費やした活動として「資格の取得」と回答した割合が 10.6%であるのに対して、正社員経験のない人は「資格の取得」と回答した割合が 4.7%となっている。

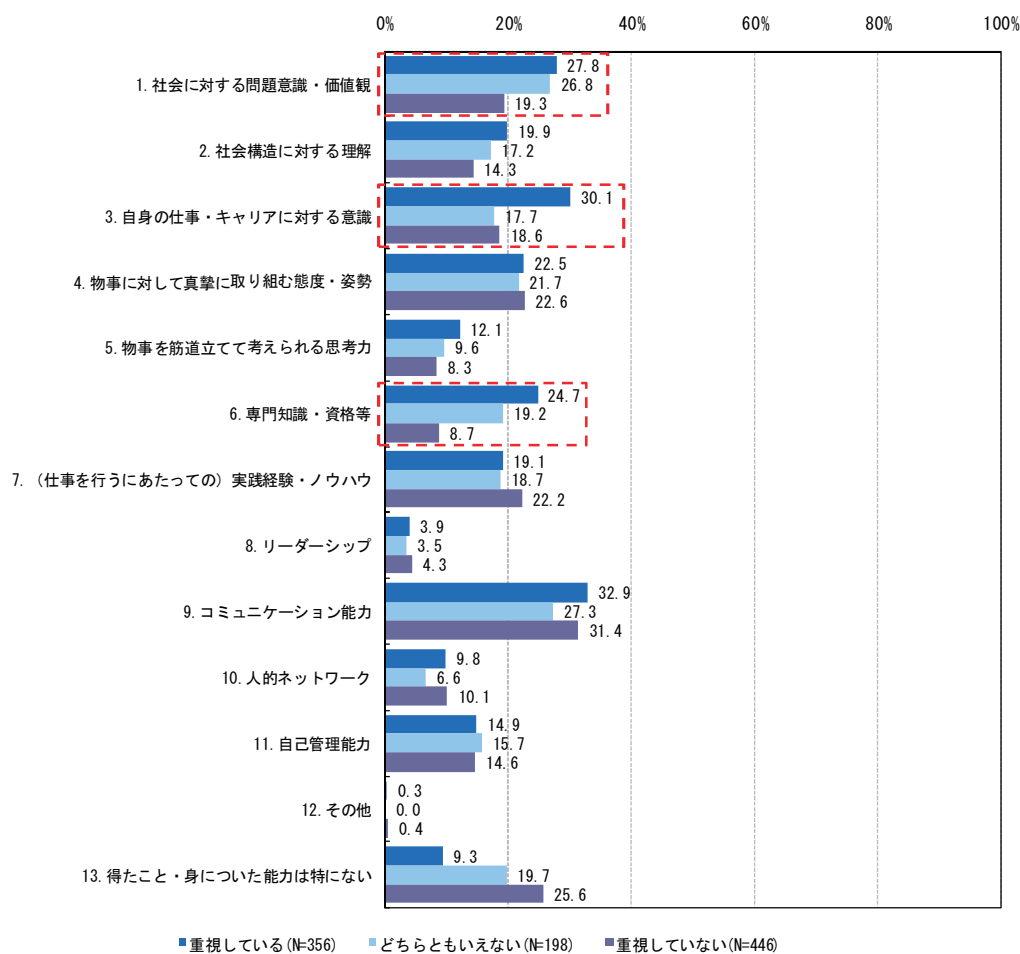
図表 17 正社員の経験の有無別のフリーター時代に最も時間を費やした活動



出所) 「仕事に関するアンケート」

●以下では、フリーター時代に資格の取得を重視しているか否かで身につける能力にどのような差異があるのかを見ていく。アンケートの結果によると、フリーターの時代に資格の取得を重視していた人は「社会に対する問題意識・価値観」を身に付けたと回答した割合が27.8%であるのに対して、資格の取得を重視していなかった人が「社会に対する問題意識・価値観」を身に付けたと回答した割合は19.3%となっている。また、「自身の仕事・キャリアに対する姿勢」については、資格の取得を重視していた人は、身についたと回答した割合が30.1%であるのに対して、資格の取得を重視していない人は身についたと回答した割合が18.6%となっている。また、「専門知識・資格」については、資格の取得を重視していた人は、身についたと回答した割合が24.7%であるのに対して、資格の取得を重視していない人は身についたと回答した割合が8.7%となっている。

図表 18 「フリーター時代に資格の取得を重視していたか別」 学生時代に身に付けた能力等



出所) 「仕事に関するアンケート」